

ミャンマー技術者5人を採用

ダイバーシティ推進へ入社式

大成ロテック

大成ロテックは、優秀なグローバル人材を獲得することを目的として積極的な採用活動を行い、1日付けでミャンマー国籍の男女5人を採用し、入社式を執り行った写真。

入社する5人は、い

れもミャンマー国内の工科大学を卒業した建築・土木分野の技術者で、基礎的な日本語も習得しており、昨年9月に日本国内で実施した面接により、適性を見極めた上で採用を決定した。



当初は、今年4月の採用予定であったが、在留資格取得審査に遅れが生じたことから、将来の通年採用実施も視野に、同社初となる10月1日付の新卒採用とした。

入社式で、西田義則社

長は「我々は、皆さんを守り、教え、そして当社のトップクラスの技術者になるまでしっかりと育て上げる。皆さんには、ぜひ大きな夢を持ってこれからの会社人生をスタートしてもらえ

ばと思う。いつしか母国に里帰りした時に、「私は、日本で立派に頑張っている」と胸を張って言ってもらえるよう、日々業務に励み、勉強をして、自身の成長につなげてもらいたい」とメッセージを送った。

同社は昨年度、管理本部長および人事部長が訪緬し、現地の学生に対して企業PRを行うなど、人材確保、社内環境の活性化、グローバル化への対応を推進するために、外国人採用に積極的に取り組んでいる。

既に3人のミャンマー国籍の女性社員を採用しており、研修期間を経て、現在、技術開発職、施工管理職、品質管理職の各分野で即戦力として活躍している。